

【 第 135 回国内旅行 軍師「黒田官兵衛」ゆかりの地・姫路と

名湯有馬温泉、讃岐のパワースポット金刀比羅宮を巡る 3 日間 】

『東瀬戸内の名湯を、上質な宿と 身体の楽な往復航空機で！』



(夕闇の迫る有馬グランドホテル)

今年の大河ドラマで取り上げられております、「黒田官兵衛孝高」は姫路の人ですが、その活動範囲は中国地方を越えて北部九州に及びます。シティの国内旅行は東瀬戸内両岸に注目して、日本の神社人気第二位の金刀比羅宮と四国最大の琴平温泉、平安の宮廷人達も通った名湯有馬温泉、それぞれに当地優良の宿を選んでご案内いたします。是非ご参加下さい！

1 日目

【 空路高松へ 】

羽田集合は8:30の予定です。四国香川県の県庁所在地高松へ飛びます。高松は香川県の真ん中にあります。「ちょっとなじみがない」とおっしゃる方、讃岐・丸亀と言えばイメージがわいてきます。そうです、日本有数のうどんの土地柄・うどん文化圏です。じゃ昼はうどんなの？違います。この辺りのうどんは百円

台からあるのです。ちょっと安すぎですね。皆様は、班によって高松市内か屋島に店が変わりますが「日本料理 大渚亭」または同等店にご案内します。



(大渚亭 別館)



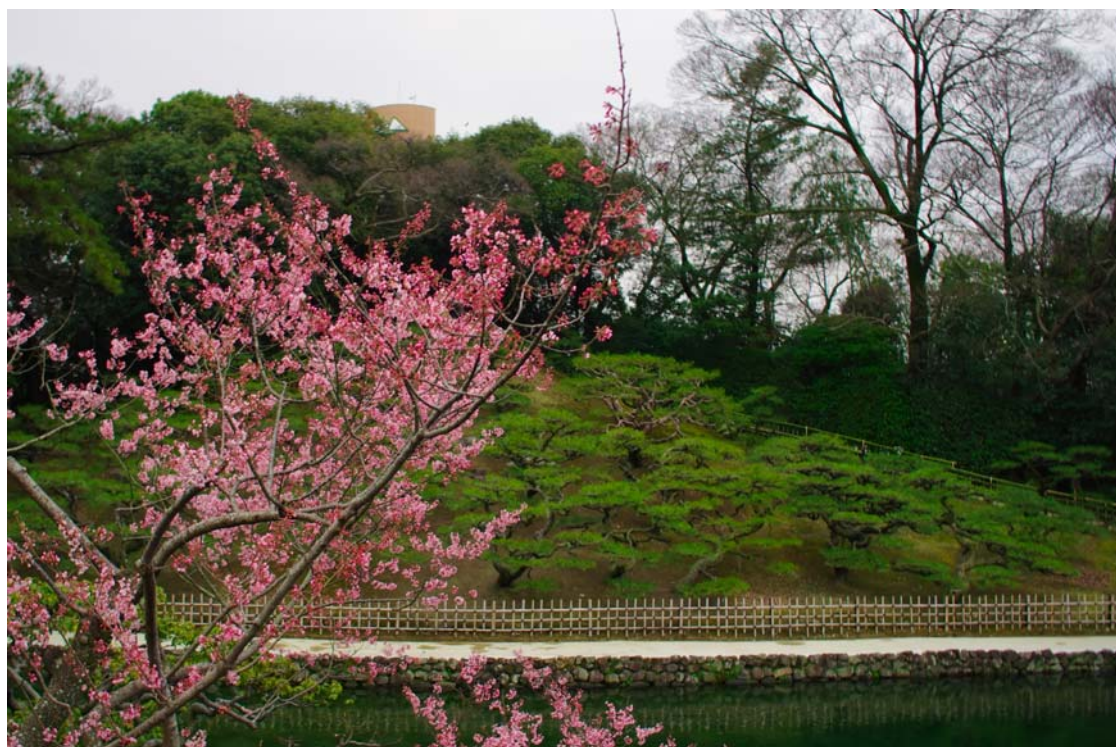
(この献立は大渚亭の献立の一例です)

【 栗林公園(りつりんこうえん) 】(国の特別名勝)

栗林公園って栗の木の公園なの？う～ん、栗の木よりも印象に残るのは松です。公園と言うより日本庭園です。東京にも沢山残る大名庭園に似ているのです。それもそのはず、初めの造営者は水戸光圀公のお兄さんとか……。東京の庭園と大きく違うのは水の美しさです。



しかも、こちらはあのミシュランガイドの評価では「星三つ」が付けられています。「星三つ」というのは、「わざわざでも訪問して見てくる価値がある場所」のことですから、外国人にも受ける観光地なんですね。



寒緋桜が咲いていました。本番ではまた違った花が咲いていることでしょう。背景はご覧の通り松です。

【 金刀比羅宮 】(重要文化財)

第一日目の宿泊地は琴平温泉です。琴参閣(ことさんかく)は、四国最大の旅館で、こんぴらさんの門前 5 分の好立地、こちらの新館、飛天館を利用します。到着後ご希望の方をこんぴらさんにご案内いたします。



(琴平温泉 琴参閣『ことさんかく』)



(From wiki pedia : Please read under-mentioned permission.)

金刀比羅宮と言えば、どなたでもご存じの「こんぴら船ふね追い手に帆かけてシュラシュシュ」というあのテーマソングは、童謡かと思っていましたら、さにあらず。江戸時代から歌い継がれるれっきとした大人の歌です。海上交通の守り神として今も海事関係の人々の崇敬を集めます。ご祭神は大物主命と崇徳天皇。なるほど大物主さんだから海の守りなんですね。大物主さんは海の上を凄い早さで走ってくるといふ姿で記紀に登場します。

そのような海の神様なんですが金刀比羅宮は象頭山の中腹にあります。奥社までの階段数は 1,368 段あり、毎年「こんびら石段マラソン」が開かれるほど。階段の中程まで籠とタクシーが利用できます。全部を上るのは大変ですからタクシー利用を考えています。



(琴参閣客室)



(琴参閣宴会場)



(この献立は琴参閣飛天館の献立の一例です)

お食事は、足・膝の負担が少なくなるよう二泊とも、畳の上にテーブル・椅子でご提供します。

2日目

【 倉敷へ 】

瀬戸中央自動車道、瀬戸大橋で瀬戸内海を渡って倉敷へ向かいます。

【 倉敷美観地区 】(国の重要伝統的建造物保存地区)



倉敷美観地区は江戸時代の初期、寛永 19 年(1642 年)に当地が江戸幕府天領に定められた時に「倉敷代官所」が建てられて備中の国の物流中心地になりましたが、当時の白壁なまこ壁の屋敷や蔵が建ち並んで美しい町並みが残っている所です。特に倉敷川の畔は美しく女性に大人気！

こちらで 1 時間半ゆっくり散策できる時間を取ってあります。

【 いよいよ姫路へ 】

姫路の市街に入り、姫路城に近づいてきますが、先ずお昼ご飯を食べましょう。姫路城お膝元の「日本料理 生松」に向かいます。「生松」は地元の有名懐石料理店の一つです。



懐石料理は、おいしいものを少しずつ、様々なバリエーションで提供するのが特徴です。この絵は厨房で料理を作っているこのお店の跡取り息子さんが描いているそうです。



このように、籠盆に載って料理が出てきます。竹細工は播磨の地元工芸品だからです。茶道具にも使われますね。



茶碗蒸しとご飯、赤だし味噌汁。京都風の中に少し武士の野趣を感じます。姫路風というか官兵衛の世界です。

【 姫路城 】(世界文化遺産)



姫路城は、別名白鷺城と言われ白漆喰造りの美しい城です。この美しさは日本人ばかりではなく世界各国の人々にも認めてられており、おそらく日本の城と言えば姫路城を思い起こす人が世界中で最も多いと思われます。勿論世界遺産です。

さてそこまでお話ししておいてなんですが、現在天守閣、この写真の右半分の城郭全体に鉄骨が組み立てられています。周辺の施設をご案内します。

【 大河ドラマ館 】



姫路城の前にあります家老屋敷跡公園に建てられた大河ドラマ館です。NHKの「軍師 官兵衛」に因む展示を見ることができます。



「酒は飲め飲め、飲むならば」で始まるあの「黒田節」が歌い上げる武士道精神とは、官兵衛の精鋭の家臣達、黒田二十四騎の事だそうです。勉強になりました。

【 有馬温泉 】(宿泊)



二泊目の宿は有馬温泉です。有馬温泉は日本三古湯の一つで都の貴族達も通った名泉、清少納言も、かの「枕草子」で名前を挙げています。宿の「有馬グランドホテル」はその有馬温泉で最も有名。お湯は「金泉」と「銀泉」があります。「金泉」は含鉄塩化物泉で金と言うより鉄の

赤い色がでたお湯でタオルもすぐ、さび色に染まりますが、浸かっているとなにやら猛烈に身体に効いてくるようです。流し湯で流して「銀泉」へ。こちらは炭酸水素塩泉で透明。美容・保湿の効能があると言われています。入浴後の広い休息スペースに驚かれると思います。



有馬温泉は神戸市ながら山の中ですが、播磨自体が交通の要所ですから、海産物には事欠きません。昔から有馬温泉宿泊客のために御影から魚を運び上げるための登山道があり「魚屋道(ととやみち)」と呼ばれていました。食事は平安貴族をもてなしてきた土地柄ですから、写真のように上品です。予定の献立ですが季節により変更がございます。

3日目

【 六甲山 】



神戸を眺める名所は、何と言っても六甲山です。朝 8:30 にホテルを出て 30 分で六甲山展望台にご案内します。こちらは高い方の展望台です。晴れていると良いのですが、視察中は曇り空でした。この写真左側におみやげ店と展望テラスがあります。晴れていれば神戸の街や港が一望できる絶景です。



六甲山なので六角形のネットを持つ上部の展望台。中に上ると、こんな感じで景色が見えます。

【 灘 菊正宗記念館 】

灘と言えばお酒の町ですね。きっと水がおいしいのです。「灘の生一本」と言えば昔はそれだけで銘酒の証でした。「剣菱」などもこちらのお酒です。せっかく灘を通りますので「菊正宗」の記念館を見に行きましょう。

【 神戸 オリエンタルホテル 】(昼食)



オリエンタルホテルは、東の「帝国ホテル」西の「オリエンタルホテル」と並び称される名門ホテルです。ただ、残念なことに阪神淡路大震災で旧建物を失ってしまいました。新しくてきれいな現在の建物はその後再建されたものです。こちらでお昼を食べますので、ちょっと注文を出してしまいました。有名

人が沢山泊まったオリエンタルホテル。当時のオリジナルレシピで提供していただけますか？とお願いすると、「マリリンモンローが食べたレシピでいかがでしょう。」というお返事です。それはいい！



というわけで、そんな雰囲気を味わっていただきたいと思います。外観から解るのはお皿が大きいんですね。ランチですがちょっとゆったりできます。



【 北野 異人館めぐり 】



(風見鶏の館)

明治の神戸港開港当時、ここ北野は僅か 60 戸 230 人の農村でした。ところが神戸外国人居住地は、来日外国人であふれかえり、住宅は山を駆け上がっていき、日本人との雑居の上このような建物が残りました。第二次大戦中は外国人の国外退去や空襲被害で北野 1 丁目から 4 丁目までのベルト状の一带がかろうじて戦災を免れたのです。さらに高度成長期のビル・マンションへの立替により異人館街はさらに寂れていきました。

それを食い止めたのは女性達でした。昭和 50 年代女性雑誌はこぞって異人館を取上げ、終に昭和 52 年NHK連続テレビ小説「風見鶏の館」に取り上げられるやいなや、観光地として大ブレイクしました。こちらが、その「風見鶏の館」です。



街を歩いても、どこことなくおしゃれです。但し、坂が多いですから気をつけて散策してください。たっぷり 1 時間 40 分の時間を取ってあります。ごゆっくり。

【 大阪国際空港(伊丹)より羽田空港へ 】



伊丹を午後5:20頃、出発します。飛行時間は僅か1時間10分、羽田の到着は午後6:30の予定です。
写真は飛行機からの大坂中心部です。

お疲れ様でした、羽田空港で解散ですが、ご自宅までお気を付けてお帰り下さい。

◆平成26年の国内旅行をご紹介します、是非ご参加下さい！！

◆出発日 各班、出発日を含め3日間の旅行日程です。

出発日	店舗名	出発日	店舗名
5月18日(日)	日本橋、浦安、京橋	6月10日(火)	秋葉原、新小岩、砂町、石神井
5月19日(月)	押上、小山、池袋本町、高田馬場	6月16日(月)	本店、神楽坂
6月3日(火)	赤羽、深川、京成小岩	6月19日(木)	蔵前、中野、玉川、志村
6月4日(水)	東王子、牛込柳町、豪徳寺、菊川、 江戸川橋	6月23日(月)	野方、堀切、東四つ木、亀有

(出発日の変更を希望される場合はお申し出下さい。他班への変更を検討します。)

【募集人員】 400名

【旅行代金】 125,000円(2~3名1室) *1名様で1室をご利用の場合は追加料金25,000円がかかります。

[調査・調整]

東京シティ信用金庫 業務部 渡邊正之



名鉄観光サービス(株)

宮崎康宏



<http://www.shinkin.co.jp/to-city/>

*copyright (c) 2014 Tokyo City Shinkin Bank

Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document
under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.2
or any later version published by the Free Software Foundation :
with no Invariant Sections, no Front Cover Texts, and no Back-Cover Texts.

A copy of the license is included in the section entitled

"GNU Free Documentation License".